

# 泉区ボランティアネットワーク通信

2016年 No.16

## ■ この人に会いたい<5>

### 泉区社会福祉協議会 事務局長

はんだ ひろゆき  
半田 博之さん (52)



半田さんは昭和63年（1988年）、財団法人・横浜市在宅障害者援護協会に入職を皮切りに、平成28年4月、泉区に赴任するまでのおよそ28年間、障害者とその家族の生活支援、および障害者地域作業所やグループホームの運営支援など、この道一筋仕事にかけてきた文句なしのエキスパートである。平成10年前後は中田地区を支援する機会が多く、なかだ作業所、ジョイカンパニー、トムトムの家、障害者活動ホーム「いずみ会館」など助言、支援、指導など多くかわり当時の所長や職員、運営委員などとの交流は、半田さんにとっては大きな宝になったことだろう。

平成15年、社会福祉法人・横浜市社会福祉協議会（桜木町）と同障害者援護協会が統合、障害者支援センターの支援課長に。ここで6年間、障害者と家族らの支援に当たってきた。担当した区が泉区だった。したがって泉区とは縁があったわけである。

半田さんの泉区の印象を聞くと「泉区は緑が多く環境に恵まれている。地域の方々も温かく、ボランティア活動も活発。こちらに来て以前知り合った方々から温かい声をかけられると、改めて泉区の良さが分かってきた」。平成4年、わたくしが「なかだ作業所」の運営委員長になって2年目、今までの建物を現在の場所に引っ越ししたときや平成13年、初代所長の新井喜之氏が急死され2代目所長に美馬美千子さんを選んだとき、その後も16年に同所に2階建ての作業所を建て替え、「家族懇談会」を発足、19年には第2作業所を新築し、讃岐うどん店を長後街道に開店した。この間、契約のこと、補助金のことなどいろいろ難しい問題があったが実務や法律に詳しい半田さんに、ずいぶんお世話になったことがある。

平成21年、南区社会福祉協議会へ出向。次長として同区の地域の福祉保健活動（地区社協）を支援。平成26年横浜市社会福祉協議会に戻り横浜生活あんしんセンター担当課長。高齢者や障害者の権利擁護、成年後見制度を担当。その傍ら市民後見人養成や活動支援など、精力的にやられてきた。そして今年28年4月、泉区に赴任。偶然にも私にとって8年ぶりの再会となった。半田さんは現在港北区に住んでおり、趣味で3坪ほどの畑を借りて家庭菜園を楽しんでいる。「また、飼い犬と遊ぶのが楽しみ」。これがとても可愛い犬でね、初めて人懐っこい笑顔が戻ってきた。

（宮田貞夫）

## ■ 一般部会開催報告

泉区ボランティアネットワーク（以下VNW）一般部会の情報交換会が、メンバー各団体の活動内容、近況を聞いて、相互の連携・協力関係を図り、今後の活動に活用することを狙い、5月24日（火）泉ふれあいホームで開かれました。

一般部会には、環境、演奏、パソコン、おもちゃ、園芸、傾聴、読み聞かせ、コーヒーサロン、ガーデニング、木工、日本語ボランティア、救急対応・処置、災害ボランティアといったボランティア団体が加盟

しています。活動内容だけでなく、活動対象も多岐に亘ることから、日常の活動では相互の繋がりが薄く、活動面では、むしろ高齢者支援、障がい者支援、子育て支援といった他の部会の団体との関連が多いのが実情です。

活動が発展し、他区、他地域での活動に発展している状況や熊本地震の状況を見ても、我々の各団体の活動は災害時には皆期待される活動そのものとなっているなど、情報も飛び交わされました。ただ、各メンバーの内容をもっと広く知ってもらうため、日頃から日常活動、イベント活動などを情報発信し、ホームページに掲載できるよう努めようとの意見が出ていました。

今期計画の中で、運営委員会を中心に研修会を実施することに対し、運営委員以外の団体から、参加希望があれば、泉区ボランティアセンターに申し込むこととなりました。（江尻 哲二）



一般部会当日の様子

## ■ 運営委員会でミニ研修を開催

毎月第一水曜日の午前中に運営委員会を開催し、年間の行事予定の検討や情報交換を行っています。28年度は、運営委員会の中で何回かミニ研修会を企画することになりました。

6月1日（水）のボランティアネットワーク運営委員会で第1回目のミニ研修会を行いました。内容は、泉区社協の「移動情報センター」の事業説明です。「移動情報センター」は、障がい児者の移動に関わる相談窓口です。具体的な相談の内容は、通学・通所、通院等様々です。相談内容に応じて公的制度の案内、福祉有償運送（介護タクシーなど）事業所やガイドボランティアの紹介を行っています。公的な制度だけでは対応出来ない相談もあり、ボランティアの方の支援が必要な場面も多いそうです。詳しい事業内容は、泉区社協ホームページ（<http://www.shakyo-iy.or.jp/>）にも掲載されています。

研修の中では、具体的な相談内容やガイドボランティアのことなどを担当者と意見交換し、事業全体のイメージが湧いたようでした。

運営委員会の中では、今後も研修会を企画していく予定です。9月の運営委員会では、「生活支援体制整備」についての研修会を予定しています。興味のある方は、泉区ボランティアセンターまでご連絡ください。

当面は運営委員会の中でのミニ研修会という形ですが、今年度の内容をふまえて、今後は、ボランティアネットワーク会員の皆さんを対象とした研修会も企画していきたいと考えています。「こんな研修をしたい」などのご要望がありましたら、お知らせください。（ボランティアセンター事務局）

## ボランティアグループ活動報告 「泉区赤十字ボランティア QQ の会」

泉区赤十字防災ボランティア QQ の会は、平成6年に上飯田地域ケアプラザでの救急法正規講習会修了後、発足に至り、今年で21年を迎えました。現在の会員数は男性17名、女性15名の32名です。

会のモットー「もしもの時に備え、正しく、早く、そして優しく、声掛け」を合言葉に、救急法の普及と会員の技術・知識向上」に努めています。

勉強会は年2回、3月と12月の第2土曜日の13時から泉ふれあいホームで開催しています。内容は三角巾の取り扱い、各傷病部位の保護包帯、心肺蘇生法、AEDを始め幼児安全法、ロープの取り扱い方法等で、毎回20名ほどの会員が参加しています。



今年6月に行った定例勉強会の模様  
(三角巾で応急処置)

今年度は、定期勉強会(3月、12月)、資格継続研修(6月)、救急法正規講習(10月)、泉区民ふれあいまつり(11月)での心肺蘇生法・AED体験を予定しています。

一緒に活動してくださる方、活動に関心のある方がいましたら、遠慮なくご参加ください。詳しくは泉区ボランティアセンターまでお問い合わせください。  
(土屋直行)

## ◇お知らせ ボランティアネットワーク

### 1 「第7回泉区民ふれあいまつり」に出店します！

11月3日(木・祝)に行われる「泉区民ふれあいまつり」に、ボランティアネットワークも出店します。今回も、新鮮ゆで卵とコーヒーの販売を予定しています。ぜひ、ご参加ください！

### 2 いずみサマースクールが始まります！

泉区社会福祉協議会では、「いずみサマースクール2016」を実施しています。7月22日(金)～8月24日(水)の夏休み期間中に行われる、小中学生を対象としたボランティア体験です。保育園や子育てサロン、障がい者施設等で体験が行われています。実習先として、地域のボランティアグループの皆さんにもご協力をいただいています。次年度に向けて、新たな体験先も考えております。夏休み期間中、実習先として受入れが可能なグループの方がいらっしゃいましたら、泉区ボランティアセンターまでご連絡をお願いします。

### 3 パソネット泉メンバー募集！

パソネット泉では、泉区の福祉活動取材し、記事をホームページに掲載しています。各地域で行われる行事やイベントの取材をしてくださる方を募集しています！また、ボランティアグループや地域のイベント等についても、行事予定や報告をホームページに掲載しますので、情報をお寄せください。



■ Safety Kids いずみ 内閣府特命担当大臣表彰受賞

Safety Kids いずみ（代表：太田由紀枝さん）は、5月30日（月）首相官邸で開催された表彰式で内閣府特命担当大臣表彰を授与されました。子ども自身で事故を回避できる力が身につくことを目指し、カレンダーや紙芝居といった親しみやすいオリジナルの教材の制作や安全講座を実施し、事故の再発予防に貢献したことが認められました。（江尻 哲二）



■ 傾聴ボランティア養成講座修了

5月から6月にかけて、泉ふれあいホームで傾聴ボランティア・モモの養成講座が実施されました。29名が申し込まれ、4日間の座学と1日の施設実習を履修した方26名に修了証が授与されました。うち21名がモモに登録し、7期生として活動を開始されました。（三ヶ田 博之）

■ 音声訳ボランティア入門講座修了

5月12日から約2ヶ月の入門講座が7月14日修了。神奈川県ライトセンターの網島英子講師の指導に、ほとんど「音声訳」未経験の受講生が参加。家庭・仕事・その他の事情を乗り越えてきた。最終日出席の12名のうち、全回受講者は7名。区社協の米山次長より激励の言葉と修了証を受け取った。講師からも「素晴らしい入門講座でした。関係者の協力が印象的でした」との言葉があった。秋からの全員の活動を期待したい。（今村 光夫）



=====**編集後記**=====

今年5月、泉区でも伝統、実績のある二つのグループが相次いで解散した。高齢者部会のたすけあいグループ「ゆりの会」（2001年創立）は介護保険制度が施行された翌年、ヘルパー2級の受講修了者5人がボランティアグループを設立。当時としては珍しく泉区全域に高齢者、障がい者を対象に有償で、活動を行ったユニークなサークルだった。ボランティアで有償なのは何故か、1時間900円は高すぎないかなど話題を集めたが「誠心誠意、依頼者のニーズにきちんと仕事をやれば、必ず理解してもらえる。お金をいただく以上は責任が伴い、やる方の側にも生きがいと誇りになる」。結果的には年間300件以上の仕事が寄せられた。今でこそ自治会や団地などで地域の小範囲で始められているが有償ボランティアの先駆的役割をはたしたグループだった。

一方「アイリス泉」は介護保険が始まる4年前、行政の支援で作られた高齢者の介護サポート事業として発足した。介護をしている人、経験者がメンバーだった。20人近くいた会員が介護保険導入で連日、勉強会した話は有名である。介護保険普及の影響もあって最近では相談者もなくなり、メンバーの高齢化もあって活動も低下していった。しかし、お互い切磋琢磨し合って最後にはヘルパー2級、介護福祉士、ケアマネジャー、介護相談員、キャラバンメイト、介護支援、介護予防支援事業所を開設するなど多くの人材を輩出した。（宮田 貞夫）



**編集委員**

発行責任者：江尻 哲二      広報委員長：宮田 貞夫  
 広報委員：金川 一之、中嶋 光代、今村 光夫、泉区ボランティアセンター

■ 問い合わせ・加入申込み ■

泉区ボランティアセンター（泉区和泉中央南5-4-13 泉区社会福祉協議会内）

電話：045-802-2150 FAX：045-804-6042

Email：ivc@shakyo-iy.or.jp 泉区ボランティアネットワークHP <http://network.shakyo-iy.or.jp/>